

## 04 地区計画とは？

地域の皆さんが主体となり行政と一緒にその街の将来像を描く「まちづくりのルール」です。

**地区計画の目標** 「どのような街にしていきたいか」の目標を定めます。

**地区計画の方針** 目標の実現に必要な公共施設や建築規制の方向づけを定めます。

**地区整備計画** 方針に従って、まちづくりの内容を具体的に定めます。

\* 道路、公園、広場などの配置

\* 建築物等に関する制限

はなぐる  
まち

## 05 どんな効果があるの？

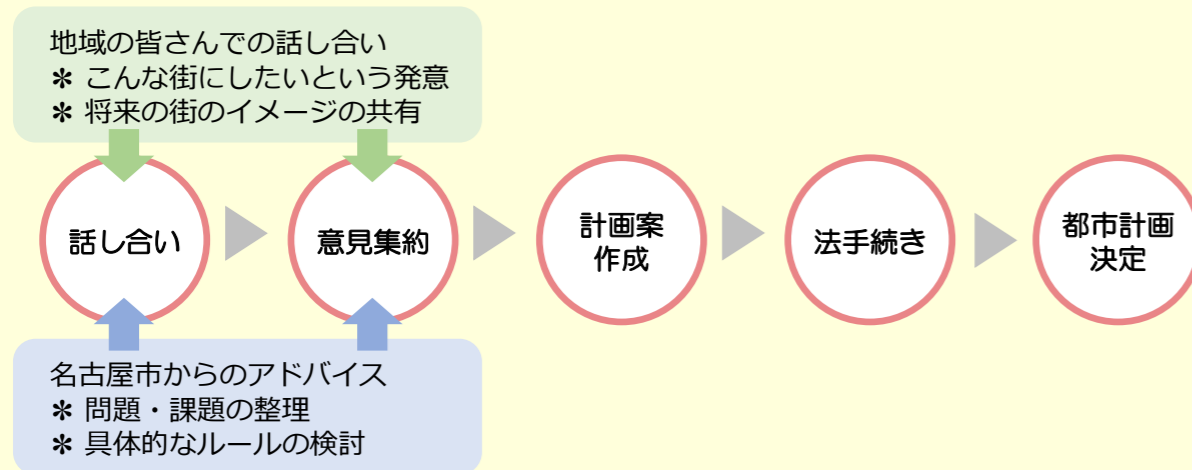
地域の特性に合わせて、適正な都市機能と健全な環境を将来にわたって確保することが可能となり、災害に強いまちづくりや、景観の優れたまちづくりを進めることができます。

建築物の使用目的・色・緑化率などの制限や道路・公園等の配置を独自に定めることで既存の権利者に影響が及びますが、街の魅力が向上したり住みやすい環境が順次整ったりする効果があります。

建築物等の用途の制限	地区にふさわしい使用目的の建物にするために制限することができます
建築物の容積率の最高限度	調和した街並みを形成したり、土地の有効利用の促進を促したりできます
建築物の形態、色彩、意匠	色や仕上げ、かたち、デザインの調和を図り、街並みを揃えられます
地区施設の配置及び規模	道路、公園等の位置及び規模を決めることができます
土地の利用に関すること	現存する良い環境を守り、壊さないよう制限することができます

## 06 どのように進めるの？

地区計画は地域の皆さんで話し合い、名古屋市に提案し、都市計画法に基づく手順により決定されます。



## 07 地区計画づくりに参加するには？

地区計画づくりは、話し合いと意見集約によって「まちの将来像」をつくることから始まります。

私たちの会は、名古屋市と継続的なまちづくりを進めるための登録を受けており、地区計画づくりに向けた名古屋市との協議も始まっています。どなたでも参加できる説明会や地区計画検討会などの場を用意しておりますので、お気軽にご参加いただきご意見をお聞かせください。

会員募集中！ あなたも一緒にまちづくりに参加しませんか



### 名駅東花車・船入地区まちづくりの会

住所 名古屋市中村区名駅五丁目6番13号 尾張屋洋品店2階  
電話 070-8401-6952 URL <https://meieki5funairi.com>

この事業は名古屋都市センターの地域まちづくり活動助成を受けて実施しています



公式HP

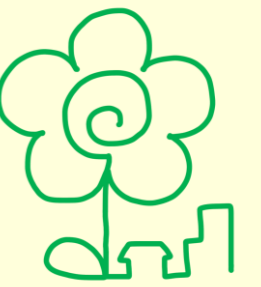


公式X

## 名古屋市と一緒に進める

# 地区計画づくり

災害に備えて花が咲く街のルールぎめ

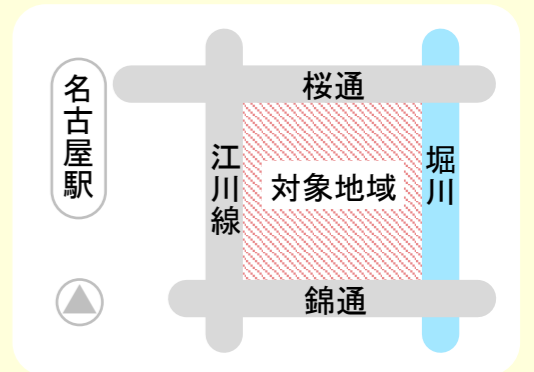


### 名駅東花車・船入地区まちづくりの会

私たちは2020年に結成し名古屋市に登録した地域まちづくり団体です。

2023年には活動を通じて収集した期待の声や抱える課題、将来像に求められる要素をまとめ、理念・方針などを整理した構想資料「はなぐるまちづくり構想」を製作しHP等で公表しました。

2024年からは、地域に集う人々をつなぎ、絆を深める活動と、住民・地権者・事業者・来訪者など多様な方々の賛同をいただける地区計画づくりを進めてまいります。



## 01 対象地域は？

名古屋市中村区名駅五丁目1番～23番  
(桜通・堀川・錦通・江川線に囲われたエリア)

## 02 どんな課題があるの？

① 防災対策が遅れています

狭い道路や老朽建物の存在により、災害発生時の危険度が高い街になっています

② 土地利用の更新が遅れています

名古屋駅至近にありながら、建物の更新が進まず、都市機能の低下を招いている街になっています

③ 都市機能誘導制度の空白エリアです

都市再生緊急整備地域内にありながら、都市機能誘導制度の対象区域外で、取り残された街です

## 03 何を計画するの？

### 道路

交通利便性と防災上有効な空間を確保し、安心安全につながる広い道路

### 公園

日常は地域の交流と憩いの場となり、非常時には防災拠点となる公園

### 土地利用

エリアを分けて街を整えていく誘導用途や求められる容積率等のルール

### 地下鉄駅

利便性の向上や地域人口増加につながる国際センター駅との接続や柳橋駅の新設

### 堀川

伝馬橋の歴史性や堀川との親水性を強化して地域魅力の向上を図る環境整備

### 遊歩道

名駅から堀川・四間道・名古屋城等への歩いて楽しい動線でウォーカブル化推進

### 社寺

都心の貴重な歴史資産を保全活用するための環境整備と防火対策

### 山車

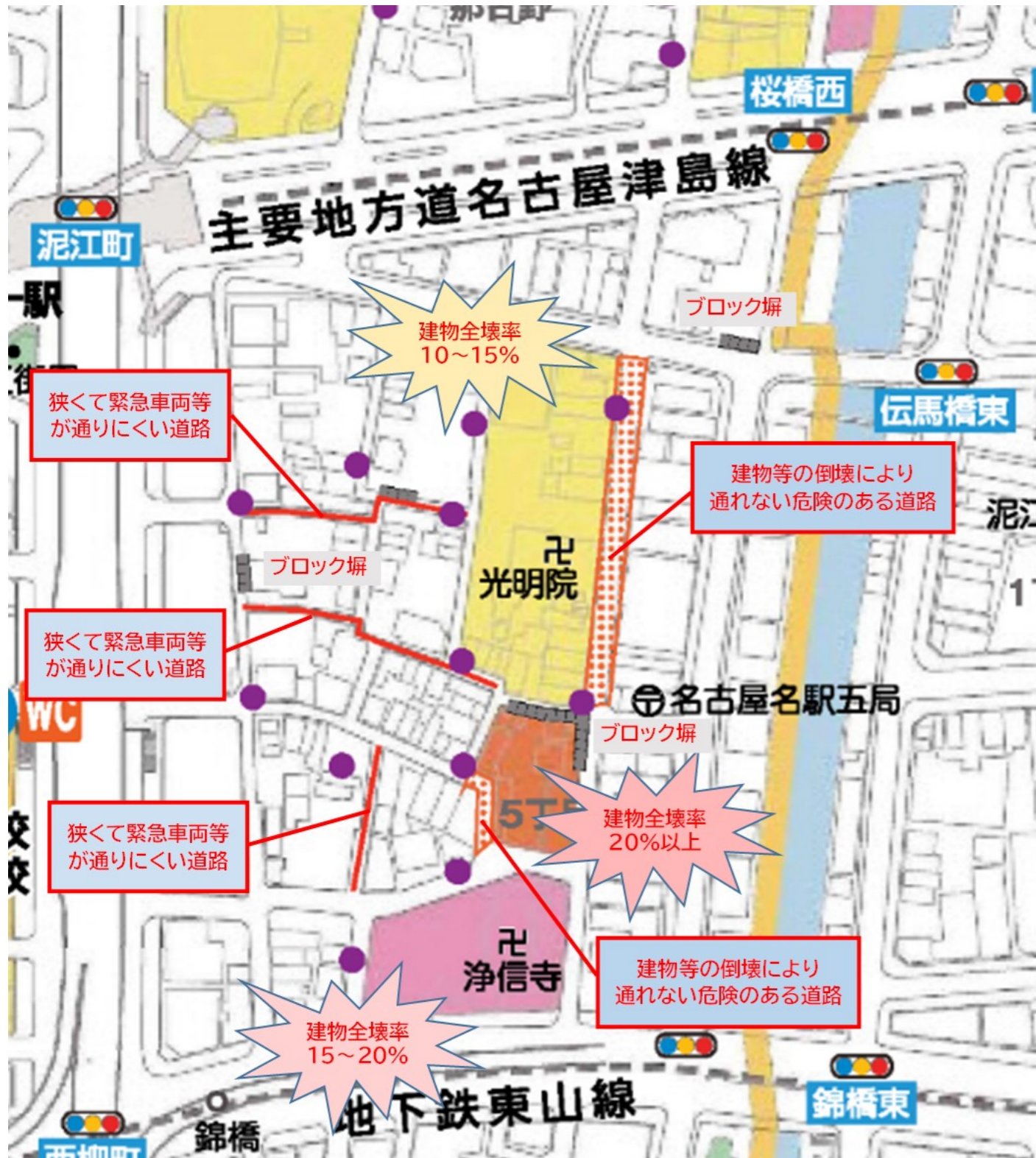
地域文化の継承や発展と、人々の交流を促していく文化・教育環境の整備



## ㊦ 防災対策が遅れています

南海トラフ地震は、概ね100～150年間隔で繰り返し発生しており、前回の南海トラフ地震〔昭和東南海地震(1944年)及び昭和南海地震(1946年)〕が発生してから70年以上が経過した現在では、次の南海トラフ地震発生切迫性が高まっています。

当地区は発災時の避難行動を妨げる要因が多く存在し、これらの解消が急務です。



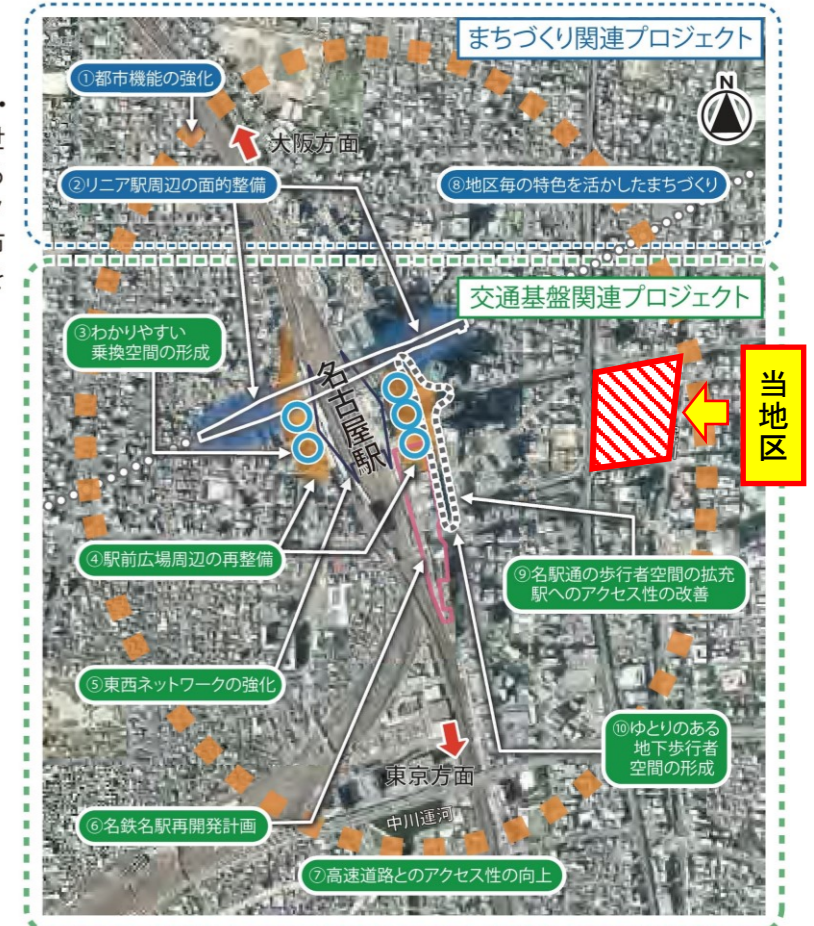
中村区新明学区震災行動避難マップより作成

## ㊧ 土地利用の更新が遅れています

名古屋駅を中心として関連プロジェクトが推進される中、当地区は計画的な土地利用更新ができていません。

### 名古屋駅のスーパーターミナル化

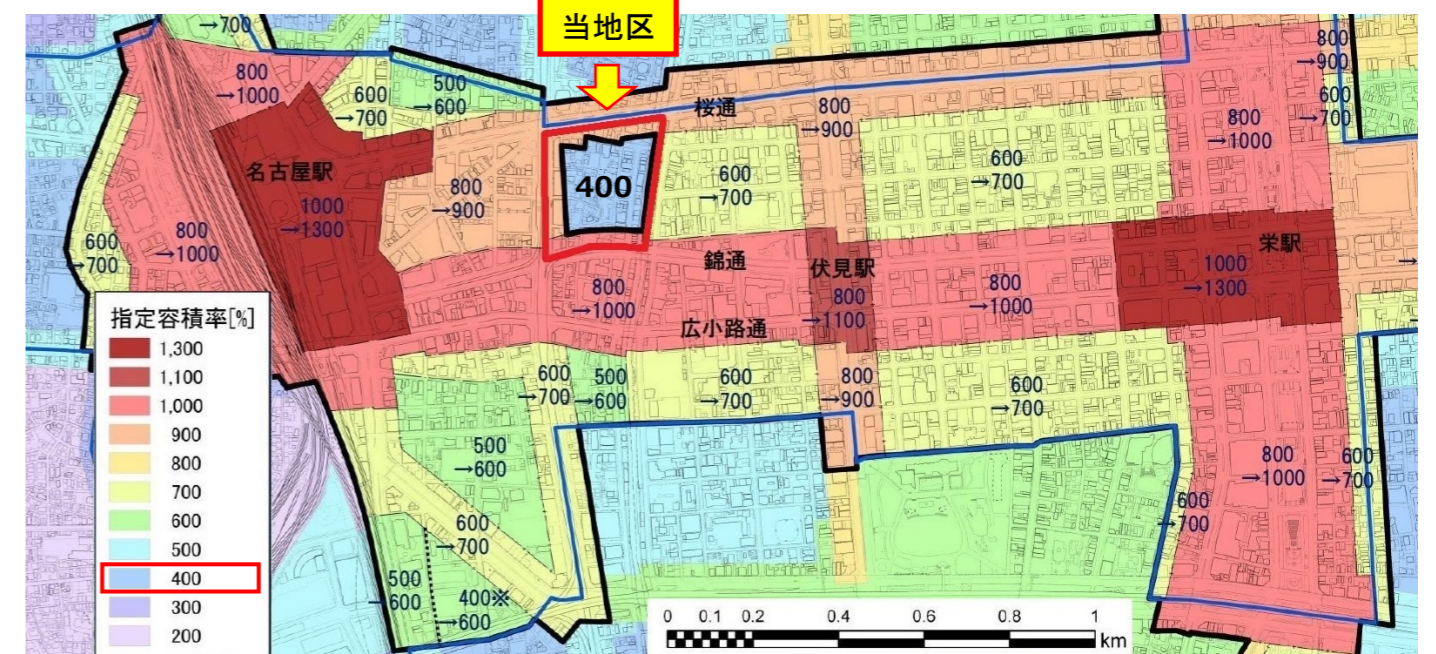
東京～大阪間でリニアが開業すれば、東京・名古屋・大阪の3大都市圏が約1時間で結ばれ、名古屋は世界最大の7,000万人規模の交流圏の中心に位置することとなります。多種・多様な人材がダイナミックに交流し、日本を支える新たな価値を創造する都市の玄関口として、様々なまちづくりプロジェクトをすすめていきます。



名古屋市 都心部まちづくりビジョン 平成31年3月より作成

## ㊨ 都市機能誘導制度の空白エリアです

名古屋市都市再生緊急整備地域内にありながら都市機能誘導制度対象区域から外れており、独自に都市機能更新を図っていく必要があります。



名古屋駅・伏見・栄地区都市機能誘導制度地区計画区域・指定容積率変更区域より作成